



会長	紺野 広	青少年奉仕	夏川戸 齊
副会長	橋本 昭一	幹事	松本 剛典
クラブ奉仕		会計	妻神 和憲
会長エレクト	橋本八右衛門	会場監督	佐々木泰宏
職業奉仕	道尻 誠助	直前会長	小林 幹夫
社会奉仕	岡崎 孝文	副幹事	小田山紀暢
国際奉仕	鶴飼 寿栄	会計補佐	小井田和哉

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 上村 奉樹
 同委員 妻神 和憲 同委員 野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ
世界に希望を生み出そう **和而不同 (わじふどう)**

国際ロータリー会長 ゴードン R.マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

9月 は ロータリーの友月間です

————— 第3285回例会 2023.9.13 —————

会長要件 紺野 広 会長



レターボックスに「国際ロータリー第2830地区2023-24年度地区大会開催ご協賛のお願い」が入っています。最初に「地区大会協賛のお願い」の文章を書きました。残り1か月程度の時期になってきましたので、改めて皆さんにお願いしたいと思います。

地区からの助成金500万円、その中で大勢集まる地区大会を運営していくのはけっこう大変です。本来は予算の中でやるのが筋であらうかと思いますが、やはり何かを発信していくという企画をした場合、お金がじゃっかん足りなくなってしまうのは各ホストクラブの今までの悩みであったようです。ガバナーが補填したり、クラブで補填したり、また地区に不足分を補っていただいたりというのが、収支が合わないときの今までの対応であったようです。

本来お金に関しては地区が責任を持つべきものかと思いますが、昨今の物価高騰のおおを受け、会場費、提供する食事などの値段

も高騰しています。切り詰めて予算の枠組を検討しても足りない。さらに当クラブから地区の記念事業を行いませんが、記念事業の代わりとして行う記念講演に関してもお金がかかります。もうあと1か月になってきました。この地区大会の成功の責任はやはり当クラブにあると言って過言ではありません。ホストをお受けした以上、成功させ、地域によいものを発信していく責任があります。そのために協賛をお願いしなければなりません。

この協賛のお願いは2830地区の40の各ロータリークラブにお送りします。そこから各クラブ会員に趣意書が回っています。ただ異論を唱えるロータリークラブもありますし、クラブから拠出するにあたって、各クラブは理事会を通さなければいけないと思います。すべてのクラブ、全ての会員が協賛に協力していただけるわけではないと思います。

ぜひ皆さんにお願いしたいのは地企業からの協賛、さらに+aでもう一か所、この趣旨に賛同いただける懇意にしている企業をお探しただいて協賛をお願いしていただきたいと考えています。少し虫のいい話とお思いますが、この地区大会の成功、有意

義なものにしていく責任はホストクラブである当クラブにありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

幹事報告 松本 剛典 幹事



○ロータリーレートのお知らせ
9月1日より、1ドル=146円
○事務局から皆様にFAX、
メール等でロータリー地区大会のご案内と地区大会の参加

伺い書を送らせていただきました。期限は来週火曜日ですので、お早めに事務局にお返事をいただけますようお願いいたします。登録料は会員13,000円はクラブ負担ですが、ゴルフ、晩餐会に参加予定の方は別途となります。晩餐会12,000円はご自身のご負担になります。

大会実行委員会から、地区大会ポスターを作製しました。事務局に用意していますので、会社もしくは掲載できるところにぜひとも貼っていただければと思います。

委員会報告

親睦・会場委員会 増田 敏委員長



○ニコニコボックスの報告
・誕生祝 深澤 隆
村上壽治さん
鶴飼寿栄さん

本日の卓話よろしくお願ひ致します。

紺野 広さん 地区大会協賛何卒宜しく御願ひ申し上げます。

渡辺 孝・夏川戸 齊 } ニコニコデー
赤澤栄治・中村稔彦さん }

地区大会実行委員会 妻神和憲委員長



先ほど来、お金のお願ひばかりで大変恐縮ですが、その辺につきましてご説明させていただきます。

まずプログラムをご覧ください。10月20日から行われるプログラムをお

送りしています。10月20日から準備などが始まります。9月27日に時間をたっぷり設けています。20日から準備などお手伝いをいただくこととなりますので、20日からの3日間は時間を空けていただきますようお願いいたします。

地区大会の協賛について、先ほど紺野会長からいろいろご説明いただきました。今年度500万円のお金を地区からいただいでいて、1人あたり13,000円の会費を集めるので、実際には懇親会費と飲み物、昼食になるとほぼその分は全部消えてしまいます。運営に関しては地区からのお金は会場費、看板設置、地区の来客の接待などに使わせていただきます。

今年度一番お金がかかるのは、コロナが5類になって、何もなくてこういうことをやれることをみんなで盛大にお祭りという形で進めたいというのは築館さんのたつての希望です。皆さんお分りの通り、築館さんはゆるキャラをやったり、今までにないさまざま、いろいろな切り口から地区をどう盛り上げていくかを、そこには賛否あるかもしれませんが、われわれを代表して、築館さんは村井達さん以来十数年振りに当クラブからガバナーとして自分が出ると決意をしたときに誰も出ないで、八戸クラブがこのまま何もしないままでいいのか、という話をわたしにしました。

そういう話の中で築館さんは自分がそれはクラブとして今後のことを考えたら絶対誰かがやらなければいけないと言って立候補しました。そういう彼をみんなで後押ししなければという気持ちで、わたしは今その下支えを一生懸命しなければという思いに駆られています。

築館さんは今大会をやるにあたって、築館さんはどうしても一つは神戸から、元々はロータリー財団奨学生だったオールイさんという国際奉仕や社会奉仕を一生懸命やっている方、今は海外の紛争地に行きまざまな医療活動、井戸を掘ったりなどの活動しているひとの活動をみんなに聞いて欲しい。そのほかに市民がこぞってきてお祭りのようにしてみんなが盛り上がるようにしたいというこ

とで、さかなクンを呼びたいということでわれわれは長い間、準備をしました。ところがさかな君サイドは本当に忙しいので、本当にスケジュールが取れなくて。でも何とか抑えることができた。

とにかくみんなで盛り上げて、みんなで協力して進めていきたい。とにかくお金の話をするのはひじょうに苦手なところですが、これは実行委員長というポストにありますので、皆さんのお力を物心両面でお借りして、築館さんを助けて下さい。支えていただければと思っています。

各社から5万円の協賛をいただいて進めていきたいと思っています。決して安いものではありませんが、半分は広告にまわります。半分はこういう事業にまわりたいと考えています。デーリーさんにもかなり頑張っていたいて、一面広告でやる前提で進めています。東奥日報さんも全県になりますが、何とか頑張るといっておことばをいただいて進めています。皆さんもどうかご協力をお願いします。

細かい説明文は先ほど紺野会長からご説明いただきました。お金がかかるにあたって、さまざまな経費がかさんでいます。新聞見開きで10月の大会1日目に載ります。プログラム、協賛いただいた会社が載ります。東奥日報は広告の集まり方によって紙面がかなり縮小されるかもしれません。右側はプログラム広告です。下の部分に社名を入れ、各社からのデザインをデジタルでいただいてプログラムに載せます。

新聞では市民に向けて公共イメージの向上も含め、さかなクンがくるということも皆さんにアピールし、QRコードもつけ、チケットが余っているようでしたらここから申し込みをしてもらうようにしています。一般用チケットはまだ枚数があります。大きなポスターも作りましたので、皆さんの会社に貼るスペースがあれば持って行っていただき、社員や社員の家族の方々、老若男女みんなが来れるような大会の形を目指すのがコンセプトですので、ぜひ来ていただければと思います。先週からチケットは先週から出して今140枚

くらいです。QRコードを携帯で読んでいただくと申込み画面に飛びます。協賛いただいた場合には指定のチケットを2枚ほど付けます。

広告掲載は10月21日に変わるかと思います。協賛料金は1社50,000円。内容はデーリー東北に社名掲載、代表氏名、職種を入れます。東奥日報も同じ紙面というわけにはいかないと思いますが、同じような形で載せることになっています。

それに+a、先ほど言ったようにページの下に広告を打っていただきます。こちらは大会に出ているロータリアンすべての方に自分のところのデザイン広告を見ていただきます。こちらは一般の方々に向けて、いわゆるPR、広告、イメージ向上を図るような意図で今回は進めさせていただきます。締切は29日。稿料は6日です。

申込方法はQRコードを読めばそのまま申込みフォームに飛びますので、そこに書き込んでいただくという極めて簡単ですし、またはURLをクリックいただければそちらに飛ぶ形にもしてあります。苦手な方は事務所にご連絡いただければと思います。よろしくお願いします。

県内すべてのロータリークラブにあたって、できれば南グループでさまざまな支援をいただきたい。他のクラブに支援をいただくにあたっては、やはり築館さんの足元のクラブが数が少なかったということになると他のクラブに対して示しがつかない話になります。本当にわがままなお願いですが、支援のほうをよろしくお願いします。

参加申込みについて、接待を含め奥様登録をさせていただきます。奥様にもぜひ参加いただいて、地区大会のお手伝いを何卒宜しくお願いいたします。奥様のご参加を促していただければと思います。

国際奉仕担当例会

「国際奉仕プロジェクト内容」 鶴飼寿栄委員長
ガバナー輩出クラブとして、国際奉仕プロジェクトは避けて通れないものだと思ってい



ます。特に国際ロータリーの事業といえばポリオが一番最初に出てきます。築館ガバナもポリオ事業に重点を置いて、バッチまで作りました。

しかしこれはバッチを作って終わりということではありません。やはりポリオの募金にかかっています。それだけポリオ撲滅運動は国際ロータリーが総力を上げて頑張っているわけです。

その背景にはいろいろ歴史があります。わたしが知っている限りを情報を集めて文面にしました。まず世界平和には国際交流の必要性を説き、日本にロータリークラブを誕生させた米山梅吉翁がいらっしゃいます。その献身的な活動によって、日本は先進国へと歩み、国際社会に浸透することができたと思います。

そして活動するおのおののロータリークラブの奉仕の心が世界の問題に取り組み、リーダーシップを発揮し、多くの実績を積みながら現在にいたっています。それは下に掲げるロータリークラブの熱い努力の継続活動です。ここで米山梅吉さんの貢献度はものすごいものがあります。ただなかなか本人の実績を披露する機会がないので、その知識に意外と乏しいのではないかと思います。

そういったこともあり、先月、紺野会長以下、道尻さん、正部家さんの4人で米山梅吉記念館を訪問してきました。感動したかどうかはまだ伺っていませんが、それなりに得るものがあったのではと思っています。機会があれば米山梅吉の功績に触れてみたいと思います。

きょうは国際奉仕の活動を皆さんに情報でできればいいと思っています。1つ目には「ポリオ撲滅運動」です。これは皆さんもよくご承知だと思います。日本では根絶された小児麻痺。1979年にこの発症をくい止めるロータリークラブの活動がフィリピンから始まりました。その後、122か国の20億人の人がこれによって救われたといわれています。根絶は99%達成しています。残る国はパキスタンとアフガニスタン最後に根絶となることが予

想されています。しかしここには宗教と風土的な要素が重なり合って、あと一步の状態と足踏み状態とされています。これには国際ロータリーの総力が費やされています。

なかなか裏の話を聞く機会が少ないのですが、実はこの宗教と風土は、イスラム教の中ではやはりポリオ接種そのものをなかなか受け入れづらい風潮があるようです。風土はそういった海外の人たちから助けてもらうことが古い人たちはなかなか受け入れがたいというものがあるようです。またもう一つの理由として、これはコロナでもあったと思いますが、アメリカの陰謀ではないかというふうなデマも出回って、そういうところからなかなかポリオ接種を受け入れづらいところがあると言われています。これがあともう少しなただけけれど、最後がなかなかとできないでいるというのが実態です。

これに続く事業は「ラオスの住血吸虫症撲滅運動」です。これはメコン川流域に風土病として約2億人の感染者がいるといわれています。これは川を生活習慣とする不衛生から生じる病気で、ロータリーではWHOと共に生活改善の活動を支援して、日本のロータリークラブからも数多くがこのプロジェクトに参加していると報告されています。この国際ロータリーがポリオを急いで撲滅し、早くラオスのこの病気に全力をあげて取り組みたいというふうなことが言われています。

継続事業ですが「識字率向上活動」です。世界で5,800万人の子どもがまだ学校に通っていないのが実態です。初等教育をロータリーはこの事業の中でやっていますが、4年間の期間でこどもに読み書きを教えるということです。この初等教育を受けた後でも読み書きができないこどもが2億5,000万人いるというふうにいわれています。世界の7億8,000万人の成人がいまだに読み書きができないそうです。

これに付随してすべての女性が初等教育を終了すれば、妊婦の死亡率が66%減少するであろうというふうなデータも出ています。読み書きのできる母親の子供は長生きできるこ

とも実証されています。世界で読み書きのできる子供になると、1億7,000万人が貧困から抜け出すことができるともいわれています。

この活動のために日本の各ロータリークラブで教材を送る、あるいは学校を建てる、講師を派遣する、財団グローバル補助金あるいは米山奨学金を使って地域の活動を活発にしているということです。これはロータリーの友の中にも時々出てきますが、識字率向上が紛争を止めているとも言われています。以前、ここでもゴルゴ13の作者のさいとう・たかをさんが卓話を行ったことがあります。ゴルゴ13の最終的な目的は教育を高めて紛争をなくするという話をされたことが印象に残っています。

「水と衛生」安全な水と衛生設備の利用はすべての人が持つべき権利である。汚染水で病気となる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちが水汲みなどの労働によって、学校に通いづらい境遇を強いられています。ロータリーは地下水利用設備と安全な水作りから浄水場に至るまで支援しています。これは以前よりかなり表現の内容が変わっています。

わたしが米山委員長をやっているときにびっくりした話があります。バングラディッシュからの留学生が話をした時のことです。バングラディッシュの水は溜まり水を使ってひじょうに不衛生だ。日本のロータリークラブが先をこぞって地下水を汲み上げるポンプを設置する活動をやった。実はそれを飲んだ人たちが病気になった。その理由はヒマラヤ山系の鉱石に含まれているヒ素だった。そのヒ素を汲み上げて飲んだために病気が蔓延し、死んだ人もたくさんいたということです。それはなかなか現地の人でないと聞けない話ですが、ロータリーの情報にはそういった話はなかなか出てきません。その留学生の話を聞いたときに、善意の中にはそういったデメリットも含まれるということをその時に思いました。

今はそういうものも改善され、「水と衛生」にタイトルが変わってきているのはさす

がロータリーらしいと感銘しています。国際ロータリーはわたしたちが表面でできるような活動を表面で披露、説明するのが乏しいような気がしますので、そういった情報を皆さんで共有していければ、皆さんも世界のロータリーがどういう方向に向いていっているのが徐々に分かってくるのではないかと思います。

ロータリーの友委員会：小田山紀暢副委員長



8月は荒谷委員長、9月は副委員長と委員で攻めていましたが、来月からは委員以外の方にも荒谷委員長から声がかかると思います。新会員の皆さんにもロータリーの友にもっと触れる機会をもっといただこうという趣旨で担当例会あります。新会員の方にも随時お願いしてこうと委員長もおっしゃっていましたので、その際はよろしく願います。

9月号の紹介をします。表紙には年度ごとのテーマがあり、今年度は昨年度と引き続き「障害者アート」です。9月号は障害を持たれている方が紙のボードにクレヨンで何回も何時間もかけて塗り直しをしています。凹凸があり最初は油絵と思いましたが、クレヨンを押しつぶしたりして何時間もかけて完成させたひじょうにおもしろい絵です。色合いが素敵です。

8月号も障害を持たれている方の描いた水族館の絵です。色合いが独特で素敵な絵です。6月号は犬の絵。左側に工作風景の写真がありますが、指人形を作って写真に収めています。

今月は「基本的教育と識字率向上月間」と「ロータリーの友」月間です。本紙にも関連記事が掲載されています。こちらは基本的教育に関連して、水、井戸をひく。教育について具体的活動の例が載っています。インドネシアのバリ島で、京都洛中ロータリークラブにインドネシアのバリ島の方が学生として来られた。その子に母国の実情を聞くと水がひじょうに手に入りづらい。子供たちとお母さ

んたち、お年寄りがわざわざ通り川や湧水まで水を汲みに行く必要がある。持って来た水もけっきょくは不衛生なので、子供やお年寄りが病気になってしまう、という話を聞いた。

そこから派生して、グローバル補助金を活用しながら現地のロビナバリー・ロータリークラブというバリのクラブから障害児が通う学校の新設事業にちょうど取り組んでいるが、費用的に井戸にまで手が回らないというニーズがあった。京都洛中RCと現地のRCが共同で事業をした。実際に完成した井戸水を引き上げているタンクが見えますが、タンクが設置されているので、これによって水の確保、病気の心配がなくなり、女性やお年寄り、子どもたちが水を時間をかけて汲みに行く必要がなくなった。それによって今後は教育や就業にまわす時間が生まれるのではという具体的な事業内容が載っています。

関東大震災から今年でちょうど100年です。その当時のロータリークラブの活動や写真が載っています。1925年2月のThe Rotarianです。関東大震災は1924年に発生した。その時点では日本で初めての東京ロータリークラブが1920年に誕生し、その後に関東大震災が起り、その救援資金を皆さんに集めていただいた。世界503クラブから日本の東京ロータリークラブに対して89,000円の救援金があった。これは現在の価値で2億円以上の金額なんだそうです。

その救援金をどう使うか。東京市に運営していた孤児院の敷地の中に建物を1棟寄贈。コンクリート造、180坪2階建てを寄贈した。そこの中で孤児の子どもたちの住むところ、

就業、ミシンを使った縫製を教える職業教育を行う場を提供した。その費用に37,000円かかった。当時としてはひじょうに先進的な建物で、すごくお金をかけた建物だったようです。

それがThe Rotarianに載っています。これはロータリーホームという名称がつけられましたが、戦争のときに焼けてしまって、今はないそうです。

純粹にわたしが思ったのは、1920年に東京クラブが初めて入会して、震災は1924年。入って4、5年の国のロータリークラブに世界中から救援金が2億円以上集まる、というところがすごいと思いました。今も震災や戦争などありますが、ロータリークラブは世界的なつながりを感じられる場ということを痛感しました。この当時、建てたときの東京ロータリークラブには米山梅吉さんがいて、建物の設計は清水建設社長の清水会員でした。

9月はロータリーの友月間ですので、実際にロータリーの友がどういうふうにならされているかの特集が載っています。東京の事務所の編集部を実際にレポーターが尋ねて記事にしています。発行部数は毎月87,000部発行しているそうです。編集長は野崎さん、11人で作っています。そのうち女性は7名です。編集長のみロータリアンで、それ以外の方は違うそうです。

ロータリーの友の記事の中には、どうすれば投稿が載るのか？ どうして縦組みと横組みがあるのか？などの素朴な疑問へのアンサーも載っていますので、興味のある方はお読みください。

出 席 報 告					出 席 委 員 会			
第3283回例会（8月30日）			第3281回例会（8月17日）					
出席率		100.0%	出席率		100.0%	修正出席率	100.0%	
総会員数		名	総会員数		名	メイクアップした人数		名
出席義務会員名	出席免除会員名	欠席数	名	出席義務会員名	出席免除会員名	欠席数	名	

出席報告					出席委員会		
第3284回例会（9月4日）			第3282回例会（8月23日）				
出席率		100.0%	出席率		61.3%	修正出席率	61.3%
総会員数		名	総会員数		64名	メイクアップした人数	0名
出席義務会員名	出席免除会員名	欠席数	名	出席義務会員	62名	出席免除会員	2名
				欠席数		24名	

出席報告					出席委員会		
第3285回例会（9月13日）			第3283回例会（8月30日）				
出席率		47.6%	出席率		100.0%	修正出席率	%
総会員数		64名	総会員数		名	メイクアップした人数	名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	名	出席義務会員	名	出席免除会員	名
63名	1名	33名				欠席数	